2024 しぶやおすすめの本50 中学生リスト

表紙をクリックすると本がどこの図書館にあるかわかります。予約もできます。

＊は新しく選ばれた本です

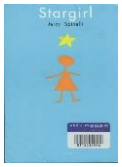
	書　名（中学生向）	著者	内容紹介
1	 ＊あした、弁当を作る。	ひこ・田中	母親の作ってくれた弁当が重たく感じる。申し訳なく思う気持ちもあるのに…。いったい、ぼくはどうなってしまったのだろう? これは成長期? 反抗期? ひこ・田中が、中学生男子の複雑な自立心を描く。（TRCマークより）
2	 あのころはフリードリヒがいた	ハンス・ペーター・リヒター	ぼくはドイツ人。子どもの頃ユダヤ人の友達がいた。ヒトラーによる反ユダヤ人運動が始まった頃だ。僕達は子どもだったから、何も分からず仲良く遊んでいた。しかし、ユダヤ人迫害はますますひどくなり、そして…。
3	 あの路	山本　けんぞう	黒いモップみたいな三本足の犬。三本足がいつからこの路に住み着いたのか、どうして三本足なのか、誰も知らない。親のいないぼくは、三本足だけが友達だった。時が過ぎても、目をつむれば、三本足のいたあの路がある…。
4	 アルジャーノンに花束を	ダニエル・キイス	頭がよくなればもっと友達ができる、一人ぼっちではなくなる…。幼児程度の知能しかないチャーリイは脳の手術を受け天才に変わる。そしてよみがえる過去の記憶。「人にとって大切なもの」を教えてくれる本です。
5	 いのちの花	向井　愛実	高校生の著者は、訪れた動物殺処分施設で、人間の身勝手で捨てられ、殺処分された動物の骨がゴミとして扱われている現実を知ります。骨をゴミではなく肥料として利用し、花を育てられないか。こうして始まったのが、いのちの花プロジェクトです。

	書　名（中学生向）	著者	内容紹介
6	 ＊うまのこと	少年アヤ	うまはヒヒーンの馬じゃない。くまや雲と、おなじ音をもった、うまです。うまは、がっこうがきらいです。うまが、うまのままでいられないからいやなんです…。自分のことを「うま」と名乗る主人公が、学校にうずまくいびつさをこっそり見つめ、自由を願うものがたり。（TRCマークより）
7	 海の島　（ステフィとネッリの物語より）	アニカ・トール	ユダヤ人の姉妹ステフィとネッリは、ナチスから逃れるため、スウェーデンの小さな島にやってきた。言葉の通じない環境で別々の家に暮らすことになった二人だが、妹のネッリはすぐに家族と仲良くなる。一方、姉のステフィは…。
8	 オオカミを森へ	キャサリン・ランデル	貴族に飼われていたオオカミを森に戻す仕事をしているフェオ。理不尽な理由で母親が捕まり、刑務所に入れられてしまった。裁判は1週間後。刑務所のある街まで行き、母親を救い出すために、フェオは仲間のオオカミたちと走り出した。
9	 「オードリー・タン」の誕生	石崎 洋司	ギフテッド、ITの天才、トランスジェンダーなど様々な分野で世界的に有名なオードリー・タン。幼いころいろいろな意味で弱者だったオードリーが、どのようにして、自由な発想を持つに至ったのでしょうか？
10	 風の靴	朽木　祥	中学受験に失敗し、不安定な気持ちを抱えて過ごす海生。そこにサイテーの知らせが届く。おじいちゃんが亡くなった…。春からのもやもやと、おじいちゃんとの別れのつらさから、海生はおじいちゃんの小型ヨットで家出することを決意した。

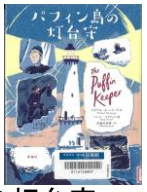
	書　名（中学生向）	著者	内容紹介
11	カレーライスをー から作る	前田　亜紀	カレーライスを作る時、私たちは材料をお店で買ってくる。でもそれを全部自分たちで作ったら、いったいどのくらいの時間と手間がかかるのだろう？野菜にお肉、香辛料、器やスプーンも！９か月かけてカレーライスを作った大学の授業の様子です。
12	考える練習をしよう	マリリン・バーンズ	やっかいな問題にぶつかったとき、きみはどうしてる？自己流に考えてばかりいないだろうか。こわばった頭をいろいろな練習問題でときほぐそう！頭の体操を続けるうちに楽しくなって、きっとこれまでとは違う考え方ができるようになるだろう。
13	ギヴァー	ロイス・ローリー	ジョナスが暮らすコミュニティは１２歳になるとそれぞれ職業を与えられる。「十二歳の儀式」でジョナスはコミュニティでただ一人の「記憶の器」の後継者に任命された。しかし、それは「記憶の器」のみが知る孤独と痛みの始まりだった。
14	ギヴ・ミー・ア・チャンス	大塚　敦子	少年院に送られた少年たちが、保護された犬を訓練するプログラムが、八街少年院で誕生しました。「ぼくにチャンスを」という願いを込め、少年と犬、お互いが成長することを目的としたプログラム。第１期に参加した３人と3匹を取材した本です。
15	ギャングを抜けて。	工藤　律子	僕は16歳で祖国ホンジュラスを離れ、一人メキシコへやってきた。僕がメキシコに来た理由…それは、ギャング団から逃れ、人殺しにならないため。僕の生まれ育った町は、凶悪なギャング団に支配され、人殺しが日常的に行われていたんだ。

	書　名（中学生向）	著者	内容紹介
16	きよしこ	重松　清	ぼくは「きよし」の「キ」がうまく言えない。だから自己紹介が嫌いで新しい友だちと知り合うのが おっかなかった。人の顔をまっすぐに見て話すなんて死ぬほど難しいんだ。でもきよしこは教えてくれた。「それが本当に伝えたいことだったら・・・伝わるよ、きっと」
17	小やぎのかんむり	市川　朔久子	中学3年の夏芽が、夏休みに家を離れたくて申し込んだ「お寺でホームステイ」。だが、山寺には住職と企画者兼世話係の穂村さんと美鈴さんしか見あたらない。他の参加者がいない中、始まった生活。けれども、思いがけない出来事が次々と起こり…。
18	さがしています	アーサー・ビナード	永遠に時の止まった時計、熱でいびつに歪んだビー玉、もう食べられることのない弁当、階段に灼きついた影。広島に残された「もの」たちは、それぞれに物語をもっています。「もの」が伝える形なきコトバに耳をかたむけてみませんか。
19	＊朔と新	いとう みく	「伴走者になってもらいたいんだ」 事故で視力を失った兄・朔は、走ることをやめた弟・新に告げる。かくして兄と弟は、一本のロープを握り、コースへと踏み出してゆく-。ブラインドマラソンは、兄弟の絆をつなぎ止めるのか。（TRCマークより）
20	しずかな日々	椰月　美智子	5年生になって初めて友達ができた。友達ができてから、ぼくの生活はガラリと変わった。学校も、放課後も。初めてあだ名もできた。でも、一番大きく変わったのは、おじいさんと暮らすようになった夏休みだった。

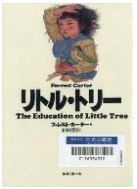
	書　名（中学生向）	著者	内容紹介
21	 自分のミライの見つけ方	児美川　孝一郎	きみが将来やってみたい職業は、大人になった時にはロボットがやっているかもしれない。それくらい世の中の変化のスピードは速い。「働くということは」「学校の勉強は役に立つのか」など、自分の将来を考えるうえでのヒントが見つかる本。
22	 自分で考えよう	ペーテル・エクベリ	哲学って…？哲学とは、すぐに答えが出ないような深く大きな問いについて考えること。哲学者たちは答えのないことにも疑問を持ち、考えぬいてきた。考えることで世界が変わることもある。哲学は難しいけど、実は生活に役立つものでもあるんだ。
23	 14歳からの仕事道	玄田　有史	情報のあふれる現代、将来の自分への不安でゆれる君たち。自分のやりたいことなんてわからないと思っている君たち。でも大丈夫、今はそれが当然なんだ。そして、だからこそ、君たちが今しかできないことがあるんだよ。
24	 14歳の君へ	池田　晶子	人が生きてゆくのは、よい人生を生きるためだ。自分にとってのよい人生、幸福な人生を生きることが、すべての人の人生の目的だ。本当の自分、本当の友達とは。これからの君の人生の、ささやかな支えになる一冊です。
25	 ＊人生で大事なことはみんなゴリラから教わった	山極 寿一	ゴリラに会いにアフリカへ向かった大学院生の「わたし」。ときに命の危険を感じながら、ゴリラとジャングルを歩き…。世界的ゴリラ研究者が、40年間の研究生活を振り返りつつ、ゴリラから学んだ「人間の生き方」を伝える。（TRCマークより）

	書　名（中学生向）	著者	内容紹介
26	 スターガール	ジェリー・スピネッリ	転校生の名前はスターガール・キャラウェイ。変わった名前に奇抜な服装、手にはウクレレとペットのネズミ。「みんなと同じにすることがそんなに大事なの？」そんな彼女に周囲は戸惑うが、レオは次第に惹かれていく。
27	 西風号の遭難	クリス・ヴァン・オールズバーグ	旅の途中、私は丘の上でヨットの残骸をみつけた。どんな高波でも船がここまで届くことはないだろう。不思議に思っていると、そこで出会った老人がある風変わりな話をしてくれた。それは昔この村にいた、ヨットの操縦の上手な少年の話だった。
28	 世界がぼくを笑っても	笹生　陽子	ろくでなしの父親と2人暮らしの北村ハルトは、塾にも行かず部活もせずに、おこづかいサイトに夢中。彼の新しい担任は、転任してきた小津ケイイチロウ先生。見るからにやぼったくて頼りなさそうだが、ハルトの中学生活を大きく変えることに！
29	 ぜつぼうの濁点	原田　宗典	ひらがなの国の濁点は、「ぜつぼう」の「せ」の字に仕えていたが、いつもダメだと頭を抱える主を見て、自分がいなくなればと考えた。新しい主を探しまわるが、なかなか見つからない。しかし、彼を必要とするひらがなは、いたのだ。
30	 旅をする木	星野　道夫	20年余り前に亡くなった写真家の星野道夫さん。素晴らしい写真と共に、すてきな文章も残しています。アラスカの美しくも過酷な自然やそこに住む人々について、友人の死や星野さんの家族について…。静かな言葉が私たちに語りかけます。

	書　名（中学生向）	著者	内容紹介
31	＊月の影　影の海（十二国記）上 ・下	小野 不由美	女子高生の陽子の許にケイキと名乗る男が現れ、異界へ連れ去る。男とはぐれ彷徨う陽子は、出会う者に裏切られ、異形の獣に襲われる。苦難を前に、帰還を誓う少女の生への執着が迸る。十二国記シリーズ「本編」第1弾。（TRCマークより）
32	つきのふね	森　絵都	私は、梨利を裏切ってしまった。そんなことをするつもりなんてなかったのに・・・。高校生のさくらと梨利、梨利を慕う勝田、そして年上の智。不安定な気持ちを抱えたまま、４人の時間は流れていく。
33	戸村飯店青春100連発	瀬尾　まいこ	兄貴はいけ好かない奴なのに女の子にモテる。どんなに忙しい時でも、家業の中華料理店である戸村飯店を手伝うのは俺だけ。そんな兄貴が東京の専門学校へ行ってしまうと、俺はなぜか寂しくなった。
34	ナゲキバト	ラリー・バークダル	父母を亡くし祖父とふたり暮らしのハニバルは、祖父の大きな愛をうけながら、人生の厳しさ、美しさを教わります。生きるとは何なのか、善と悪とは何なのか。9歳のハニバルが、後悔と成長を繰り返しながら考え、理解してゆきます。
35	なまくら	吉橋　通夫	仕事が長続きせず、すぐに逃げ出してしまう14歳の矢吉。今も、石運びの人足を逃げ出そうと考えていたが、偶然やってきた同じ村のトメがケガをしたため、村まで送って行くことに…。生きるために働く少年たちを7つの短編でつづります。

	書　名（中学生向）	著者	内容紹介
36	 にいさん	いせ　ひでこ	ゴッホはオランダの画家です。ひまわりの絵を知っている人も多いでしょう。ゴッホが認められたのは死んだ後。生きている間は絵を描き続けるために大変苦労をしました。そんなゴッホを支えたのは、兄の才能を信じる弟のテオでした。
37	 のっぽのサラ	パトリシア・マクラクラン	お父さんが新聞に「おくさん募集」の広告を出した。私には、お母さんの思い出が少しあるけど、弟にはまったくない。だから「サラ」という人が来てくれそうと聞いて、みんな期待でワクワク。大草原の小さな私たちの家、気に入ってくれるかな？
38	 ＊パフィン島の灯台守	マイケル・モーパーゴ	嵐の夜、5歳のアランはパフィン島沖で灯台守のベンに命を助けられました。成長したアランはベンに会うため島をたずねます。少年と灯台守のきずなは、一羽の鳥をとおして、さらに深まっていき…。（TRCマークより）
39	 駅鈴（はゆまのすず）	久保田　香里	小里は、祖父や父のような駅子(使者を案内する者)にあこがれている、駅家の娘。女は駅子にはなれないと言われるが、様々な出会いや経験を積み、次第に駅子として認められるようになっていく。そんな中、駅家の長である祖父が亡くなる。
40	 ＊武士道シックスティーン	誉田 哲也	「ようするにチャンバラダンスなんだよ、お前の剣道は」「兵法がどうたらこうたら。時代錯誤もいいとこだっつーの」 柔の早苗と剛の香織はまたとない好敵手。勝負の行方は? 痛快・青春エンターテインメント。（TRCマークより）

	書　名（中学生向）	著者	内容紹介
41	 フェイクニュースがあふれる世界に生きる君たちへ	森　達也	フェイクニュースってなんだろう。「自分はだまされないよ」って思うかもしれないけど、君が見たニュース番組にも、ネットで見た写真にも、それを作った人の意思が必ず入っている。どういうことなのか、この本を読んで考えてみよう。
42	 マイク	アンドリュー・ノリス	プロテニスプレイヤーを目指す少年フロイドの前に突然現れた謎の男。マイクと名乗るその男は、フロイドの試合の度に現れるようになり、ついに試合中にコートの中へ。審判に抗議するフロイドだったが、その姿はフロイドにしか見えていなかった…。
43	 マリアンは歌う	パム・ムニョス・ライアン	歌うことが大好きで、プロの歌手になることを夢見たひとりの黒人少女。根強く残る人種差別に対し、強く闘うことを望まない彼女がとった行動とは？人種差別を乗り越えて自らの道を切り開いたマリアン・アンダーソンの生涯を描く伝記絵本です。
44	 三つの願い	デボラ・エリス	「願い？１つだけある。天国に行くこと。死んだ後、天国でなら幸せになれると思う。」あなたには、どんな願いがありますか。７０年以上続く中東戦争。インタビューを通して見えてくる、子どもたちの生活と戦争。
45	 ミライの授業	瀧本 哲史	１４歳のきみたちに、知ってほしいことがあります。それは、きみたちには未来が作れるということ。未来を作るためには、過去を知ることが必要です。これから取り上げる２０人の人物の人生から、未来を学ぼう。未来のための特別講義の始まりです。

	書　名（中学生向）	著者	内容紹介
46	 虫ぎらいはなおるかな?	金井　真紀	著者の金井真紀さんは虫嫌いを克服 したくて、７人の虫の達人たちに会いに行く！昆虫ハカセ、虫のオブジェをつくる人、きらいという気持ちを研究している人など。虫について明るく語るプロたち。果たして金井さんの虫ぎらいはなおるかな？
47	 めんどくさがりなきみのための文章教室	はやみね　かおる	中2の健は、人間の言葉を話す黒猫ダナイと出会う。文章を書くことが得意なダナイは、作文が苦手な健に書き方を教えてくれるという。作文って何を書いていいかわからない…健と同じように思っている君にぴったりな、文章を書くための実用書。
48	 リトル・トリー	フォレスト・カーター	両親が死に、5歳のぼくはチェロキー族の血が流れる祖父母と暮らすことになった。祖父母はぼくをリトル・トリー（小さな木）と呼び、チェロキーの掟など様々なことを教えた。必要なだけしか獲らないこと。愛と理解はひとつのものであること。
49	 リマ・トゥジュ・リマ・トゥジュ・トゥジュ	こまつ　あやこ	中学2年の沙弥はマレーシアからの帰国子女。まわりから浮かないように、目立たないように気をつけて生活している。ところが、ある日、図書委員の督促女王こと3年の佐藤莉々子にギンコウに誘われる。ギンコウって銀行？恐る恐るついていくと…。
50	 ＊両手にトカレフ	ブレイディみかこ	１４歳のミアは図書館で「カネコフミコ」の自伝と出会い、共感する。母親はあてにならず、弟の面倒はミアがみているのだが、もしソーシャルワーカーに目をつけられたら生活が一変してしまう！そんななか、ミアの書くラップの歌詞は同級生のウィルに感動を与えた。